

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
旧草津川周辺地区

平成30年2月

滋賀県草津市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	旧草津川に接続する道路の歩行者数	人/10時間	842	1,180	1,560	確定 見込み	○	あり なし	●	2,085	H30年2月	○	事後評価後に完成した事業が効果を発揮し、評価値を大きく上回った。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	草津川跡地公園が平成29年4月に供用を開始し、市民活動の場、季節の草花を楽しむ広場、飲食施設、イベント広場等、多くの市民が気軽に楽しめる公園が中心市街地内に完成したことから、来園目的に周辺を歩く人が増加した。
指標2	草津宿本陣の入館者数	人/年	18,216	22,400	19,096	確定 見込み	△	あり なし	●	19,000	H30年2月	△	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	草津川跡地公園のオープンによる来訪を期待したが、前年度の入館者数は上回ったものの、評価値と同程度の入館者数に留まった。
指標3	旧草津川周辺市民1人当たりの避難スペース	m ² /人	2.01	3.30	1.68	確定 見込み	×	あり なし	●	3.86	H29年5月	○	事後評価後に実施された事業が効果を発揮し、評価値を大きく上回った。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	草津川跡地公園は中心市街地内の新たなオープンスペースとして、周辺地域の一次避難地として、防災空間が形成された。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1					確定 見込み								□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み								□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み								□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	市民活動に対する支援や連携	草津市ガーデニングサークルが行うガーデニング活動に対して補助を行った。	公共空間のコミュニティガーデン整備や維持管理活動に対する補助、サークル運営経費補助、会員の技術向上及び新規会員の募集を目的とした活動補助を行った。 これにより、市民サークルが全国花のまちづくりコンクールにおいて「花のまちづくり優秀賞」を受賞した。	
	防災機能の強化	防災機能を兼ね備えた公園整備を行った。	防災機能を備えたファニチャーの設置や簡易トイレ・テントを設置するための十分なスペース、緊急車が進入できる通路等、日常に楽しく利用できる空間だけでなく、防災機能を兼ね備えた公園が整備できた。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	賑わいの創出	草津川跡地(区間②および区間⑤)の整備を行いながら、公園内における飲食店や商業施設の出店事業者を募集した。	公園のオープンにより、市民が気軽に訪れる公園が完成した。区間⑤は季節の花や緑が楽しめる多様なガーデンエリア、様々な魅力的なイベント、飲食店などの集客施設がオープンし、区間②は、広大な多目的広場や交差点広場、民間事業者による賑わい創出施設がオープンした。公園のオープンにより、子供からお年寄りまでが訪れ、一緒に楽しめる公園となり、草津市の新たな賑わいの創出につながっている。	
	防災力の強化	防災行動訓練の実施や、地域のまちづくり協議会と共催した総合防災訓練を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ●シェイクアウト訓練では、市内一斉緊急放送システム(屋外スピーカー)による市内全域放送、えふえむ草津による同時放送により、66,414人が参加登録訓練を行った。 同時に草津川跡地公園(区間⑤)において集合型のシェイクアウト訓練を実施した。防災行動訓練危険予知トレーニング、防災体験、電気自動車の電気を使った非常食の試食体験を行い、市民の防災意識の向上を図った。 ●総合防災訓練では、地元小学校と草津川跡地公園(区間⑤)において、総合的な訓練を行った。特に子供向けに日用品を使った防災グッズづくりは子どもの防災意識を向上させた。 	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
—			
—			